

8. 就職指導

本校の就職指導は、職業安定法第33条および同法施行規則第25条の規定に基づき、労働大臣から浜松公共職業安定所を経て無料職業紹介所の認可を受け、正規の資格のもとに行っている。

本校では、就職支援課が就職指導の基本方針を策定し、情報収集、求人開拓のための企業訪問を積極的に展開している。各地職業安定所をはじめ、姉妹校である静岡産業技術専門学校、沼津情報・ビジネス専門学校、静岡デザイン専門学校、静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校と密に連携をはかりながら、求人獲得に努めている。このようにして得られた資料は“就職ポータルサイトSacla”にて管理され、自由に求人票を検索することができる。就職活動において、大いに活用されることを希望する。

情報化社会の急速な発展に伴って、経済社会は絶え間なく変化を続けており、その中で、切磋琢磨する企業は、それぞれの分野のスペシャリストを求めている。本校では、これらのニーズに対して学生個々の希望、個性を尊重しつつ、かつ修得した豊富な知識、技術を十分に発揮できる職に就くことを目標に、責任をもって就職指導を行っている。

就職は学生諸君にとって重大な契機、新しい人生への出発点であることはもちろん、自己実現を達成する場、ひいては社会に奉仕、貢献する場として重要な意味をもっている。このような意味を十分に認識した上で、本校に入学した目的を再確認し、日頃の勉強や各種資格の取得、あるいは規律ある日常生活に励み、就職活動に取り組むことを切望する。

就職活動が多様化してきている現在であるが、学校求人を十分に活用し情報収集・分析を行い、自分の内定獲得に活用していくことが重要である。

【就職活動支援について】

（１）職業人講話の実施

職業人としてよりよく社会と関わっていくためのヒントや、人生の先輩としての価値観、生き方などの講和を聞くことで、社会人としての心構えを育んでいく。

（２）就職希望調査書の提出

学生各自の希望する業種、職業、勤務地、形態（学校依頼、進学、自己就職の別）等を真剣に考え、就職活動に備える。

（３）個人面談

就職希望調査書に基づき学校側と個人面談を行い、意思・希望を再確認し問題点を整理する。

（４）求職票の提出

希望調査の後、意思・希望を明確にした上で、無料職業紹介所に対して求職申込みの手続きを行う。
また、ハローワークへの登録も行う。

（５）就職ポータルサイト・Teams・メール配信システムの利用

校内からだけでなく、家庭からでも本校の求人票を検索したり、「合同企業ガイダンス」などの情報を知ることができる“就職ポータルサイトSacla”が用意されている。学校からの就職情報（求人情報含む）は、Teamsや「メール配信システム」を利用して学生のスマホやPCに送られる。

（６）合同企業ガイダンス（２年制学科１年次の２月、３年制学科２年次の２月）

主として採用計画のある企業から人事担当者やOB/OGを招き、学生と企業側との接点を得るためのブース形式の「合同企業説明会」を行う。人事担当者より会社の業務内容・仕事の内容・待遇などの説明を受け、企業に対する理解を高める場であると共に、企業に対して自分自身をアピールする場でもあるので、事前に会社研究をして積極的な姿勢で臨んでほしい。

（７）模擬面接の実施

模擬面接を実施することにより実際の就職試験に備える。

（８）応募申込み

学内の「求人票」や就職支援サイトを閲覧し、各自、希望・能力・適性等を考慮した上で希望企業を選定し、必

要書類を添付の上企業に応募する。そのために会社説明会の参加や会社訪問は積極的に行ってもらいたい。

“就職ポータルサイトSacla”で申請・報告を行い、学校との連絡は密にする。

<必要書類>

- ①履歴書（エントリーシート）
- ②成績証明書（発行手数料 1通200円）
- ③卒業見込証明書（発行手数料 1通200円）
- ④健康診断書（発行手数料 無料）
- ⑤作品（ゲーム・デザイン系職種）

最近、会社説明会に出席することを応募の条件とする企業や、「エントリーシート」の提出を求めたりする企業が増加している。事前に応募方法についてよく調べ、手続きに漏れの無いよう注意する。

（９）採用試験

応募申込み後、試験日程等の諸連絡は本人に直接伝えられたり、学校を経由する場合がある。前項と同様、学校側との連絡を怠らないようにする。試験内容については、先輩たちが残した過去の「受験報告書」を参考にす

るのもひとつの方法である。

<試験内容>

- ◎書類選考
- ◎筆記（一般常識・専門知識・適性検査・SPI試験など）
- ◎論作文
- ◎面接（対面面接・WEB面接・個人・集団・ディスカッション形式など）
- ◎作品審査

上記の試験がいくつか組み合わせて行われる。また面接のみの場合もある。

なお、就職支援課では担当者が随時個別相談に応じているので、「就職相談室」での情報収集と共に大いに活用してほしい。